

オンライン・ビブリオバトルに参加して

毎年、龍谷大学で開催されているビブリオバトルが、今年はオンラインで開催された。対面しないビブリオバトルは初めてだったが、今までと同じくらい楽しんで参加することができた。他のバトルのプレゼンを聞いているとやはり新たに興味を持ったりして、ビブリオバトルは本との出会いの場であると改めて感じた。それと同時に、たとえ対面できなくても、このような貴重な体験ができる催しは続けていかなければならないと思った。

市来 裕奈 (法学部 3 回生)



【瀬田ミニ展観】ライサポ企画



今年度はコロナの影響もあり、なかなか活動再開ができませんでした。しかし 11 月になって、対面授業の再開とともに新しく 1 年生のメンバーが増え、展観コーナー作りを行いました。



今年度はコロナの影響で家の中にいる時間が長くなりました。その時間を無駄にせず、この機会にぜひ学んでほしい知識の本を選びました。紹介した本以外にも変わりゆく社会の中で役に立つ知識の本は沢山あります。ぜひ一度手に取って見てください。

原田 真佑 (農学部 4 回生)・水野 紗那 (農学部 1 回生)

『できるゼロからはじめるワード&エクセル2019超入門』

井上香緒里・柳井美紀&できるシリーズ編集部[著]
インプレス、資料ID:31905046505

レポートや卒論はもちろん、社会人になっても必須スキルの Word & Excel を今すぐ勉強できます。このシリーズは PowerPoint 編や Zoom 編など、今役に立つものばかりです。



『雑草学入門』

宮浦理恵・松嶋賢一・下野嘉子[編集]、講談社
資料ID:31805022207

身近に存在する雑草たち。雑草同士の競争、人間との競争、必死に生きる彼らについて詳しく説明されています。



『基礎から学ぶ!スポーツマッサージ』

溝口秀雪[編著]、泉秀幸・笹木正悟[共著]
ベースボール・マガジン社、資料ID:31900028400

オンライン講義や課題で画面の前に座りっぱなし...肩こりや腰痛になっていませんか? マッサージで体をほぐしましょう。



ライブラリーサポーターの任命式 (オンライン) を行いました。

2020年12月17日(木)にZOOMを利用して、ライブラリーサポーターの任命式(オンライン)が行われ、新サポーター(8名)の紹介、図書館長の挨拶、記念撮影などが実施されました。ライブラリーサポーターの活動については、毎年、この図書館広報誌『Lib れぽ!』で詳しく紹介しています。『Lib れぽ!』のバックナンバーは、図書館HPに掲載しています。



ライブラリーサポーターは随時、募集しています。
関心のある方は biblio@ad.ryukoku.ac.jp までご一報ください。

ライブラリーサポーター募集動画の音声吹き込み

ライブラリーサポーター募集のため、紹介動画を作成しました。例年はパワーポイントを使用し、新入生の前で直接お話しする機会をいただいているのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、動画に音声吹き込みとなりました。動画になると繰り返し再生することができるため、対面とは違う独特の緊張感がありました。録音ではありますが、ご覧になった皆さんに少しでもライブラリーサポーターの魅力が伝わっていただければ嬉しいです。

波部 夏輝 (文学部 2 回生)

<紹介 HP>

https://library.ryukoku.ac.jp/index.php?key=bb5pv6wqi-1807#_1807



ライブラリーサポーターおすすめのデータベース紹介

今年は新型コロナウイルスの流行により、学生のみさんが大学図書館に来館する機会が減少したことと思います。そこで、自宅からでも利用できるデータベースの紹介を作成しました。龍谷大学は様々な種類のデータベースを提供していますが、実際に使いこなしているという方は多くはないのではないのでしょうか。ライブラリーサポーターのおすすめするデータベースをきっかけにして、みなさんが様々なデータベースに親しんでくれると嬉しいです。ぜひ日々の学習やレポート作成に、データベースを活用してみてください。

西岡 智佳 (文学部 2 回生)

<紹介 HP>

https://library.ryukoku.ac.jp/index.php?key=bb0qvw4fa-1807#_1807



ライブラリーサポーターのお薦め本

2020年夏に実施したWeb選書から、ライブラリーサポーターのお薦め本を紹介します。



『鬼の思想：鬼哭と狂気』

網澤清昭 [著]、風媒社、資料ID: 12000023401

鬼と一口に言っても、死者の靈魂、災害、病氣、異民族など様々なものが時に鬼として扱われてきました。この本は、そんな鬼として扱われてしまった人とモノのルーツに迫る一冊です。酒吞童子、源頼光、坂田金時など昔話の登場人物から宮沢賢治や柳田国男など近代の人物を通して鬼を見つめて直してみませんか？

濱岡 利奈 (文学部3回生)

『ツルゲーネフ散文詩』

ツルゲーネフ [著]、岡沢秀虎 [訳注]、大学書林、資料ID: 12000023627

短いお話が14話入っています。1話1話が短いのでさらっと読むことができます。ツルゲーネフは社会問題についてよく書いているので、ただ読むだけでなく、この短い文章の中で何を伝えようとしているのかを考えるのも楽しいと思います。私は「会話」が一番好きな話です。

本の構成としては、左ページがロシア語、右ページが日本語となっています。下に単語の注釈があるので、ロシア語の勉強にも使えるかもしれません。

柳田 ひなた (文学部3回生)

『星降り山荘の殺人』

倉知淳 [著]、講談社、資料ID: 12000023263

推理小説では定番のクローズドサークル殺人事件！この本では、雪に閉ざされた山荘で殺人事件が起こります。こうしたクローズドサークルの事件というだけで、とても期待が膨らみますが、この本の魅力はなんとと言ってもクライマックスのどんでん返し！私も予期せぬ展開に思わず汗を握ってしまいました。倉知淳が送る名作ミステリーに、きっとあなたも見事に騙されるでしょう！

池田 萌 (文学部2回生)

『ケース別発達障害のある子へのサポート実例集 幼稚園・保育園編』

上野一彦 [監修]、酒井幸子、中野圭子 [著]、ナツメ社、資料ID: 12000023308

LD、ADHD、自閉症など、発達障害のある子どもたちへの具体的な支援の仕方、生活面・行動面からイラスト付きで紹介しています。困り感などの具体例、そのようになる理由、対処法を詳しく解説しており、先生/保護者目線から見た注意点なども知ることができます。教職課程などで特別支援教育について学んでいる学生さんやボランティアなどで障害のある子どもたちに関わる機会のある方にピッタリの一冊です。

高見 秀太 (文学部2回生)

『四畳半タイムマシンブルース』

森見登美彦 [著]、上田誠 [原案]、KADOKAWA、資料ID: 12000023593

森見登美彦さんの代表作の一つである『四畳半神話大系』の大学生たちが、タイムマシンで時間旅行！水没したエアコンのリモコンを求めて昨日にタイムトラベルする、というお話です。世界消滅の危機や主人公の恋路など内容盛りだくさん。森見さん独特の文体で綴られる、個性豊かな登場人物たちの物語に引き込まれること間違いなし。伏線の回収も鮮やかで爽快な気分になります。京都を舞台に繰り広げられる、一風変わった時間旅行を楽しんでみませんか。西岡 智佳 (文学部2回生)

『シニガミさん』

宮西達也 [作・絵]、えほんの社、資料ID: 12000023343

あなたが生まれた日はいつですか？では、死ぬ日は？それを知っているのは、決めるのは、「シニガミ」なのです。ある日、腹ぺこのオオカミが見つけたのは病気のコブタ。弱ったコブタを食べようとするオオカミでしたが、どうせなら元気になってからと家に連れ帰り、看病を始めます。シニガミさんはそんな2匹をこっそり見つめていて……。大人になった今だから読みたい、温かくて優しい絵本です。

波部 夏輝 (文学部2回生)

『旅猫リポート』

有川浩 [著]、文藝春秋、資料ID: 11210008612

この本は、しっぽが数字の7の形に曲がっていることから名前が付いた猫の「ナナ」とその飼い主である青年「悟」が一緒に旅をしながら、様々な人達と交流していく物語です。

この本は、結末が分かっていたとしても何回でも読める作品だと思います。この本のページ数は多いので少し大変かもしれませんが、物語自体にやさしい印象を与えるため読めるかと思えます。さらに、1回読んで終わりにするのではなく、2回、3回と読むことをお勧めします。

細川 瑞紀 (文学部1回生)